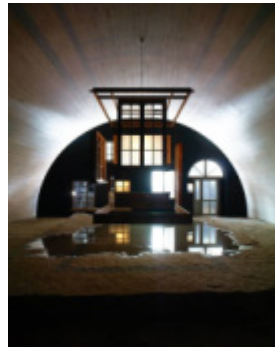




地熱で涼しくなる部屋と太陽光で暖かくなる部屋があり、その空気をやり取りして自然の恵みで冷房暖房をするそうです。ふんこだわつてゐなく。やつと、入り口を開けてもらって中へ入ると、『次の担当が来ますのでこちらでお待ちください。』まー田舎やから時間が止つてもいいか、これ東京やつたらいらいらする人が出るやるなく。今日はわざわざ来てるんやから我慢我慢。次



のお姉さん、説明をお聞きして、暗く、通路へ、カワイ子ちゃん二人と一緒に、まるでお化け屋敷感覚で進んでいく。鏡で作られた不思議なトンネル空間である。一切電気はないが屋根の開放部分から鏡を通して外光を招いている不思議な空間である。その通路を抜けると、前衛アートのオブジエです。ここは説明を聞くのをミスってしまったのでノーコメント。なんせこんなやつがある。あと2つくらいアートがあつて出口です。この施設は銅の精錬所が廃墟になつていたのでアートのスペースとして復活しました。美術館のみ新築しましたがそれ以外は廃墟を整備して遊歩道をつけただけの施設です。南の島

のシヤングルの中に忽然とアンコールワツトが現れた様な感激です。な感じすごい。大ぢやんは結構廃墟が好きなんです。先日も東洋のグランドキャニオン足尾銅山を見学してきました。長崎の軍艦島も行ってみたいところ。昔の活性を廃墟から読取る、そんなのが楽しいのかもしれない。昔は5千人も犬島に住んでいたそうですが、今は2百人とが。その分レトロ率が高い。(レトロ率、今思いつきました、これは大ぢやんが作った言葉として後世に残るかも)一番写真真栄えするのは発電所跡の建物です。いい感じですよ。何時間いても飽きない場所です、ビールさえあれば、いけないアルコールが切れてきました。先へ急ごう。この島は船着場からどこへでも15分でいける小さな島です。島の真ん中あたりに島で一軒の店屋さんでビールとオールレズンを一袋買う。やつとありついた昼食である。オールレズンをかじりながら南の海水浴場へ、結構設備がいい海水浴場がありました。そこで



またビールを買い、20連荘の石のイスに腰掛け海を眺めながら、ビールを飲む。最高です。青い海に白い砂。酔いが回ると人と話したくなる、キャンプ場売店のおじさんと話す、経営大変でしょう。『そうや岡山市が経営をあぐねてしまつて、今は地元のおじさんが委託で経営してるんや。役人さんは給料高いからなく』とな。自分だけビールを飲みながらひとしきり話して、適当な所でこゝういつて終わる。その魔法の言葉とは、『勉強になりました。』。次は島の西側へ行かなくては、出船まであと30分。島の西側には自然の家があります、いわば昔の青少年向けリゾートですね。玄関広場で昔の青少年達が同窓会のようなバーベキューをやつてました。前の海岸では地元のおじいさんとおばあさんがのんびり釣りを、なんとなまこが一匹、これつて釣れるん。即座にばあさんが『この人引つ掛けたんや。』次はじいさんが『昨日はアイナメが2匹釣れた。』と、自慢が入る。のどかさがありがとうございました。次の探検は島の中心部です。レトロ率100%のいい感じ。なにに電話室。昔あつたんですよ、くるくる回して耳に当てるタイプ。こんな



看板は大正時代やるな。次は街角ふれあいルムを覗いてみると、私ももし私は加藤和子と申します、何か御用ですか? 『はい、楽しんでるので覗かせていただきます。』島の人はみなさんホントに温かい。環境は人間を作るとはこんな感じかな。そろそろ船の時間10分前と、トイレ行つて行くかく。トイレを出たら、あれ船が出て行つてしまつた。あと、5分もあるのに。でも50人くらい積み残されてる。みんな不安顔は一人もいない。ニコニコです、日常茶飯事なんや。人数が多そうなきは先に出発する。15分もすれば戻ってくるそう。15分もすれば戻ってくる。そう。それを犬島時間と呼ぶ。そうやなそうやな。アートプロジェクトのスタッフの方も港へ集まつてきました。17時に終わつて帰る。17時15分の最終の船に乗つて帰る。それしかないからそれに合わせて営業する。いいねいいね環境に合わせてさ。ベネッセさん(経営母体)がかわいい。これで帰ればいいものを、しつこく裸祭りで有名な西大寺にお参りしてきました。一日が終わり

